

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

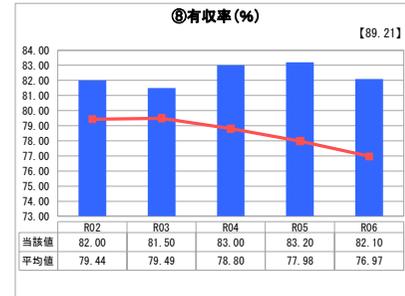
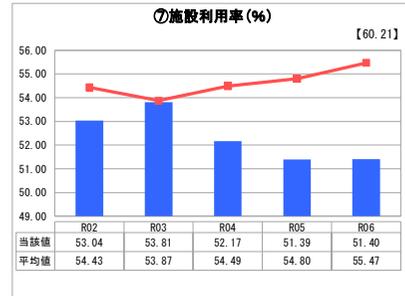
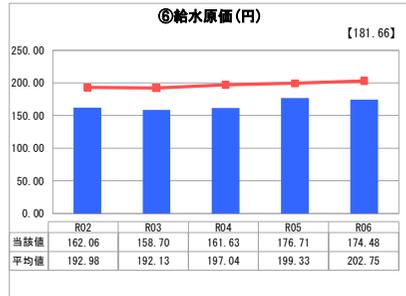
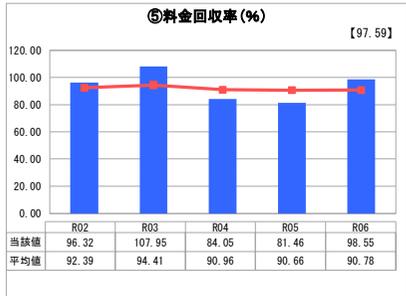
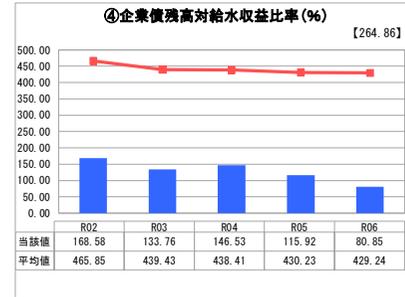
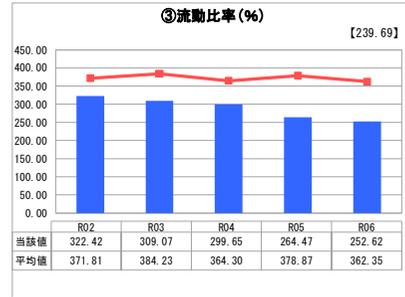
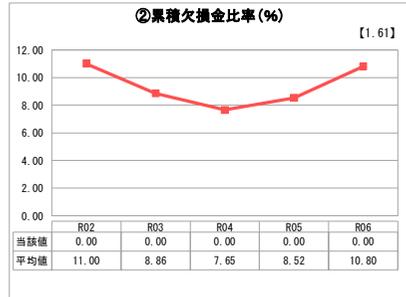
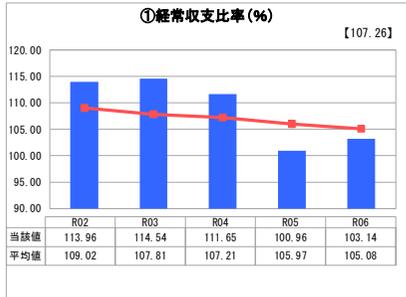
埼玉県 神川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)	
-	89.60	99.20	3,190	

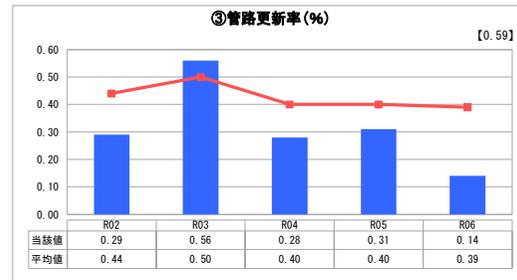
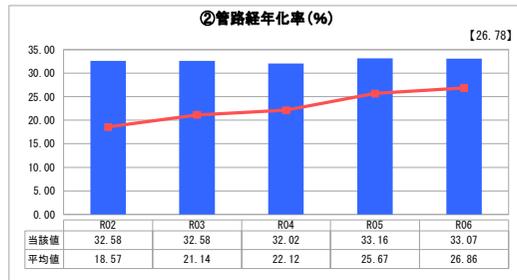
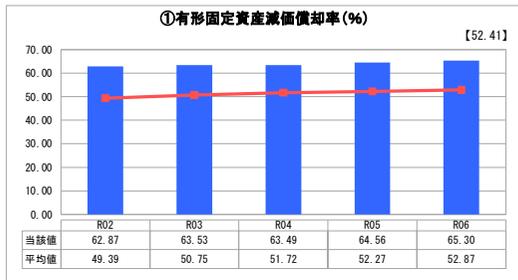
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
12,759	47.40	269.18
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
12,598	46.58	270.46

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は、全体として収益は減少したが、修繕費が減少したため前年度の値から若干改善したものの類似団体平均値を下回っている。  
 ②累積欠損金は生じていない。今後も欠損金が生じないよう事業を継続していく。  
 ③流動比率は100%を超えているが、現金預金残高が減少して前年度より数値は低下しており、類似団体平均値も下回っている。短期的な債務に対する支払能力は有しているため、今後も健全な経営を継続するように努める。  
 ④企業債残高対給水収益比率は、企業債現在残高が減少したことと、物価高騰等支援対策による水道料金の基本料金免除を実施しなかったため、給水収益が改善して前年度から数値が低下した。  
 ⑤料金回収率は、基本料金の免除を実施せず給水収益が増加したことから、前年度の値から改善した。  
 ⑥給水原価は類似団体平均値を下回っている。今後、更に効率的な経営を実施するために精査を行う必要がある。  
 ⑦施設利用率は前年度とほぼ同様の数値であり、今後も適切な規模確保を検討する必要がある。  
 ⑧有収率は類似団体平均値を上回ったが、前年度の値から低下した。今後も引き続き老朽管の布設替えの推進や計画的な漏水調査を実施すること等により、有収率の更なる向上に努める。

### 2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率については、近年は大規模工事を実施していないため、数値は横ばいとなっている。今後は予算を調整しながら、計画的に更新工事を実施していく。  
 ②管路経年率は、類似団体平均値を上回っているため、計画的な施設管路の更新が必要である。  
 ③管路更新率は、管路以外の施設の更新工事を優先したため、前年度から数値が低下した。今後は予算と調整をしながら、管路を含めて計画的に更新を進めていく必要がある。

### 全体総括

経常収支比率は100%以上で推移しているが、前年度に引き続いて類似団体平均値と比較して、数値が下回る結果となっている。  
 今後も給水人口の減少に伴う給水収益の減少と、施設の老朽化等の工事に対応するために、事業費の増大が続くことが見込まれる。  
 水道事業の健全な経営のためにも、安定的な財源である給水収益を増加させるために水道料金の見直しを図ることや、現在の施設規模が適切かどうかを検討する必要がある。

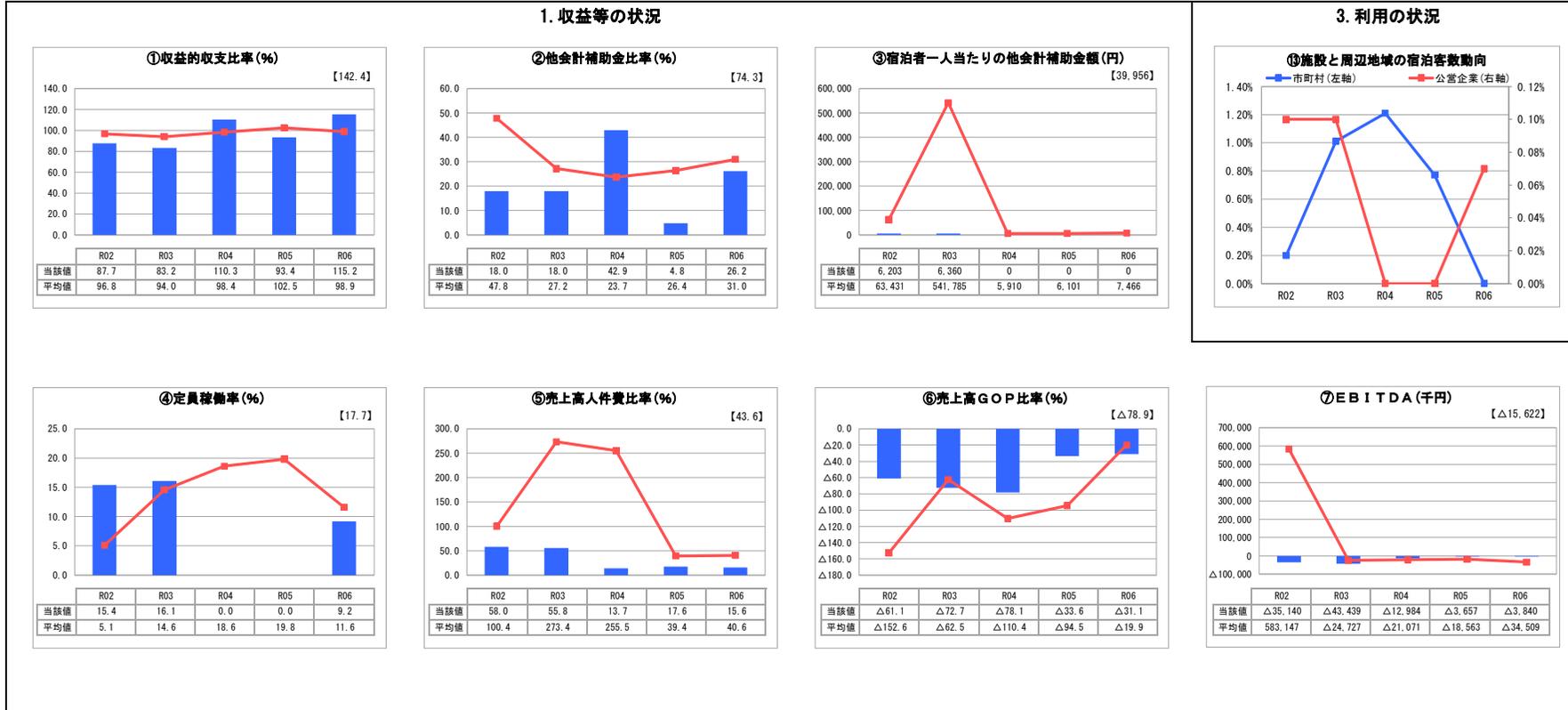
# 経営比較分析表（令和6年度決算）

埼玉県神川町 城峯公園キャンプ場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	観光施設事業	休養宿泊施設	A 2 B 1	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	建物延面積 (㎡)	宿泊定員数 (人)	
該当数値なし	該当数値なし	1,247	114	

客単価 (円)	指定管理者制度の導入	インターネットによる予約割合 (%)
3,122	利用料金制	97.9
パリアフリー法の基準適合性	トイレ洋式化率 (%)	Wi-Fi設置
有	100.0	有

グラフ凡例	
■	当該施設値 (当該値)
—	類似施設平均値 (平均値)
【	令和6年度全国平均

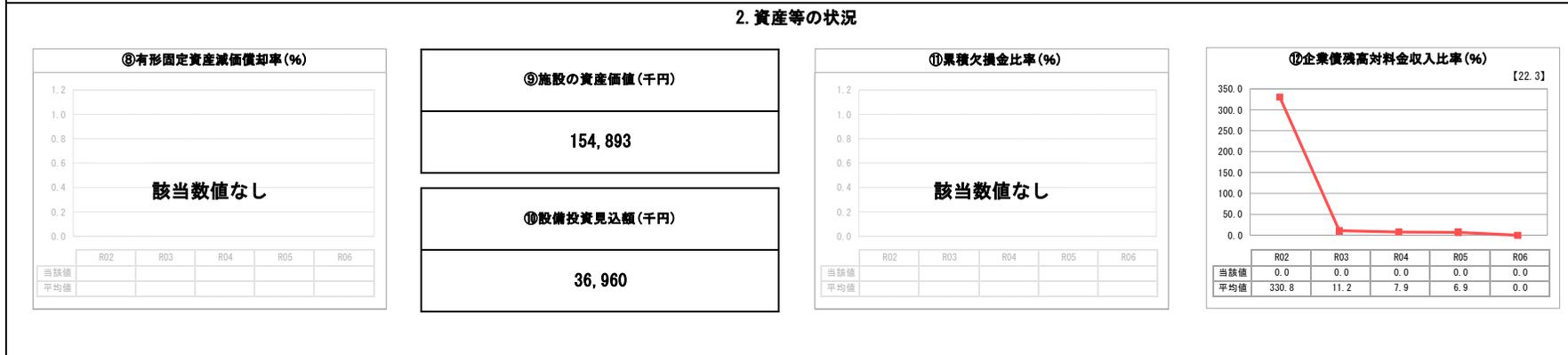


### 分析欄

**1. 収益等の状況について**  
 収益的収支比率は老朽化による施設修繕がありましたが、宿泊者数が前年より増加しており平均値を超えています。他会計補助金比率は、類似施設平均よりは低い値ですが、老朽化による施設修繕もあり昨年より増加しています。売上高人件費比率は類似施設平均よりは低い値ですが、宿泊客の回復による売上高の増加と、人件費の急騰により横ばいとなりました。売上高GOP比率は売上高は微増でしたが、施設老朽化による修繕費用の増の影響で落ち込んでいます。EBITDAは施設老朽化による修繕費用の影響で、値が下振れしています。

**2. 資産等の状況について**  
 設備投資見込み額は、製氷機の入替や宿泊施設など老朽化による修繕を行いました。今後も老朽化による設備投資が増えることが予想されます。企業債残高対料金収入比率については、観光施設事業に関わる企業債は完済、現在は指定管理者制度を導入し、現在は料金収入もないため0%となっています。

**3. 利用の状況について**  
 施設と周辺地域の宿泊客動向については、当該施設及び周辺地域それぞれの延泊者数が、所在都道府県の延泊者数に占める割合の推移を表す指標です。昨年度時点から比較すると宿泊者数は増加しており、外国人利用者も増加しています。



**全体総括**  
 当該施設については指定管理制度を導入して運営しています。一般会計からの繰入金に依存しているため、より一層の経営改善により宿泊者数を増加させ、独立採算の運営が求められています。当該施設は下久保ダムや城峯公園といった施設が近くにある立地で、観光客が多く訪れる場所ではありますが、山中にあり、冬季には路面の凍結が発生するなど、開散期における宿泊客獲得に向けた対応が必要です。

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

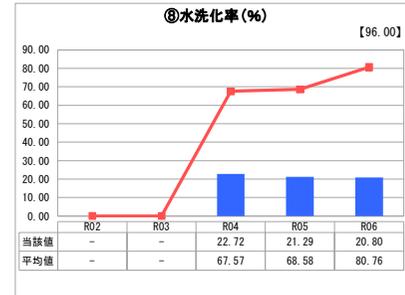
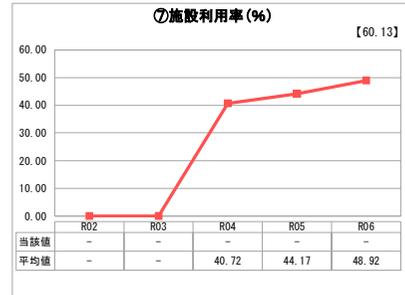
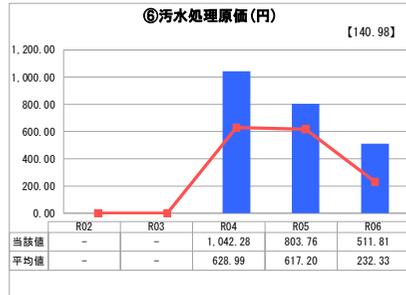
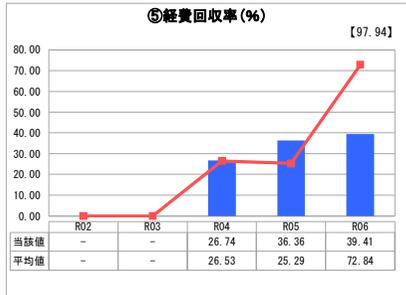
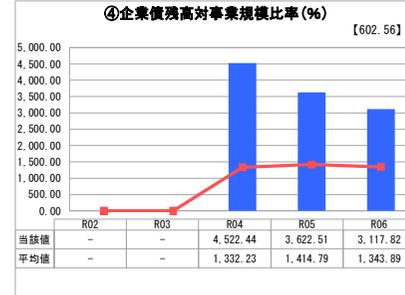
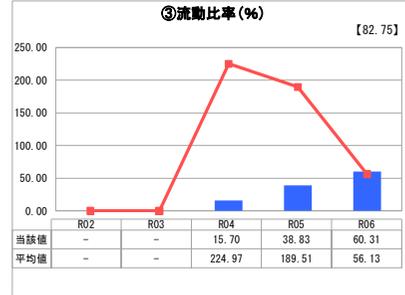
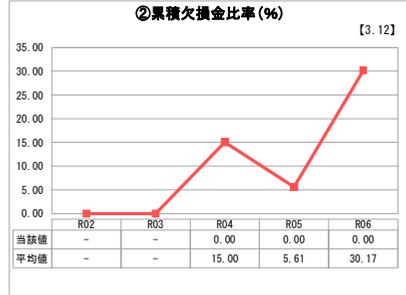
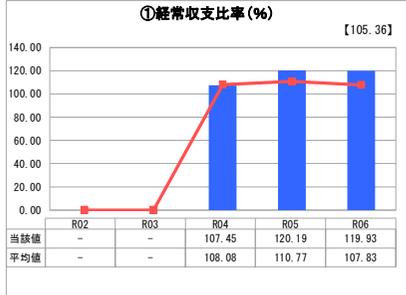
埼玉県 神川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	26.63	3.75	102.04	2,420

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
12,759	47.40	269.18
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
476	0.54	881.48

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率  
 ほぼ前年度の数値と同様で、100%を超えて類似団体平均値を上回っているが、収入を一般会計補助金に大きく依存している状況である

② 累積欠損金比率  
 累積欠損金は生じていない。今後も欠損金が生じないように事業を継続していく。

③ 流動比率  
 下水道使用料収入の増加等により数値は改善したが100%を大きく下回っており、継続して健全な経営に努めて支払能力を向上させていく。

④ 企業債残高対事業規模比較  
 類似団体平均値を大きく上回っており、企業債残高が大きく同様の傾向が継続すると見込まれる。

⑤ 経費回収率  
 下水道使用料収入の増加等により前年度の数値から上昇しており、継続して下水道使用料収入の増加と経費節減に努める。

⑥ 汚水処理原価  
 前年度の数値から改善されたが、類似団体平均値を上回っているため、継続して効率的な汚水処理に努める。

⑦ 施設利用率  
 浄化施設不保持のため数値なし。

⑧ 水洗化率  
 前年度の数値から微減しており、類似団体平均値を大きく下回っているため、啓発活動など下水道事業を推進して接続件数の増加に努める。

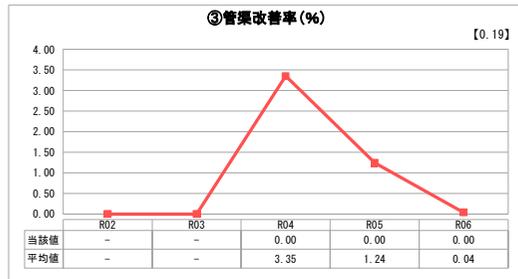
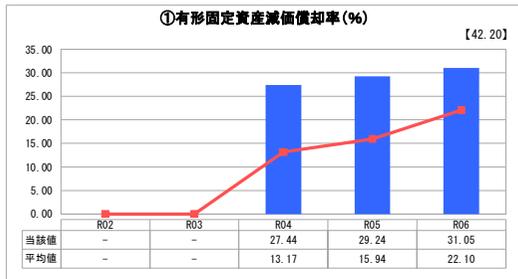
### 2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率  
 類似団体平均値を上回っている。近年は下水道本管の布設工事等の実績がないため、上昇傾向が継続することが見込まれる。

② 管渠老朽化率  
 該当なし。

③ 管渠改善率  
 管渠改善率については、耐用年数を超えていないので数値がない。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

令和4年度から地方公営企業法を全部適用した。経常収支比率は100%以上で推移しているが、一般会計補助金からの収入に大きく依存している。下水道使用料収入のみで経営をすることが難しい状況であり、流域下水道として県に維持管理及び建設負担金を支払うことにより事業が成り立っているため、負担金の額が経営に直結する。健全で安定した経営を実現するため、今後も下水道への接続率の向上及び下水道使用料収入の増加に努める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

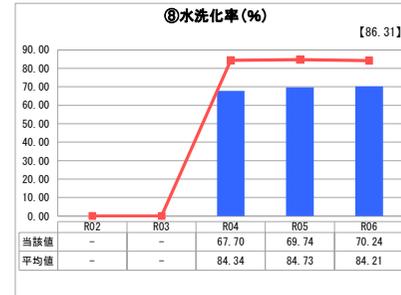
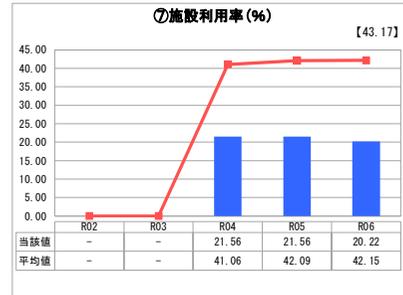
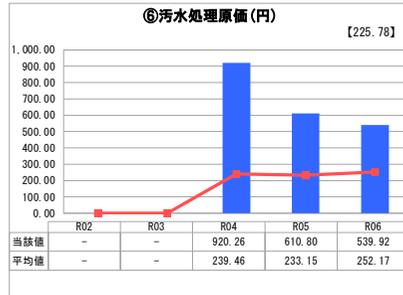
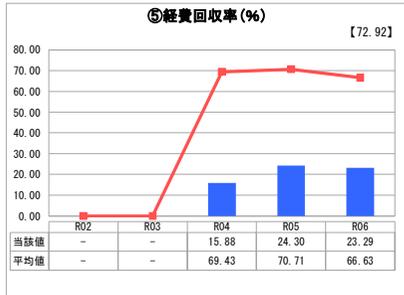
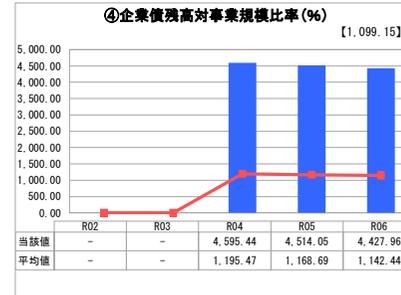
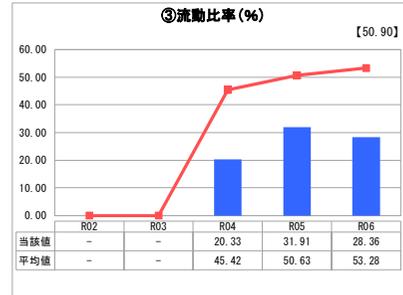
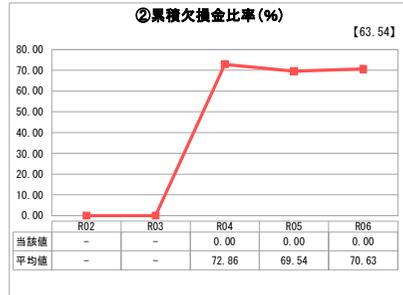
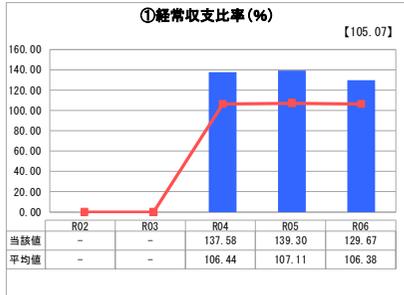
埼玉県 神川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	67.27	9.02	112.13	2,420

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
12,759	47.40	269.18
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,146	0.76	1,507.89

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率  
100%以上で推移しているが、前年度から数値は低下しており、収入を一般会計補助金に大きく依存している状況である。

②累積欠損金比率  
累積欠損金は生じていない。今後も欠損金が生じないように事業を継続していく。

③流動比率  
現金預金が減少したため前年度の数値を下回った。類似団体平均値を下回っているため、支払能力を高めるために経営改善を行う必要がある。

④企業債残高対事業規模比較  
類似団体平均値を大きく上回っており、企業債残高が大きく同様の傾向が継続すると見込まれる。

⑤経費回収率  
前年度から数値が低下しており、類似団体平均値を下回っているため、下水道使用料収入の増加と経費節減に努める。

⑥汚水処理原価  
前年度の数値から改善されたが、類似団体平均値を上回っているため、継続して効率的な汚水処理に努める。

⑦施設利用率  
利用率向上のために住民への推進を続けていく。

⑧水洗化率  
前年度の数値から微増したが、類似団体平均値を下回っているため、啓発活動など下水道事業を推進して接続件数の増加に努める。

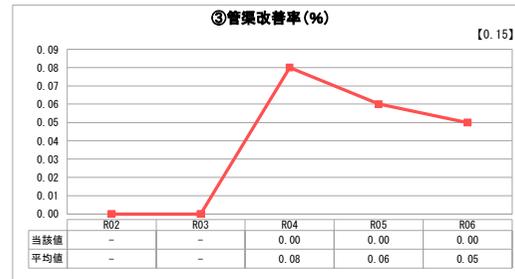
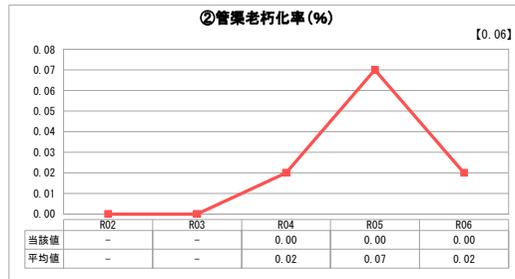
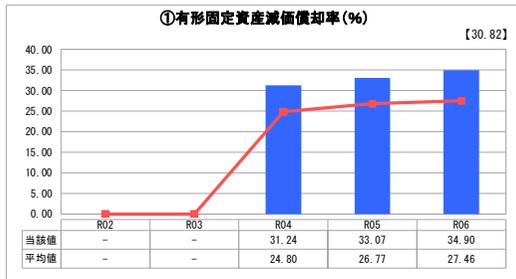
### 2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率  
浄化施設の減価償却費の額が大きいため、類似団体平均値を上回っている。近年は工事等の実績がないため、上昇傾向が継続することが見込まれる。

②管渠老朽化率  
該当なし

③管渠改善率  
管渠改善率については、耐用年数を超過していないので数値がない。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

令和4年度から地方公営企業法を全部適用した。経常収支比率は100%以上で推移しているが、一般会計補助金からの収入に大きく依存している。現状としては、下水道への接続件数は頭打ちであり、下水道使用料収入のみで経営をすることが難しい状況である。

また、浄化施設の機械電気設備の大部分は耐用年数を経過しており、計画的な施設更新が必要となっている。

健全で安定した経営を実現するため、今後も下水道への接続率の向上及び下水道使用料収入の増加に努める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。